

桑名七盤勝負へのご声援誠にありがとうございます

桑名七盤勝負2019年年間スポンサー様ご紹介

桑名七盤勝負2019年年間プレミアスポンサー

順不同 敬称略

どうぶつしょうぎ cafe いっぷく



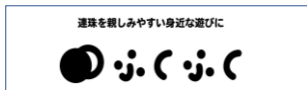
シェアオフィス・貸会議室
CoHaCo コハコ
https://www.co-ha-co.com/ CoWorking space & Conference room

日本将棋連盟所属
長沢千和子女流四段

筒井レイナ

桑名七盤勝負2019年年間スポンサー(賞品・用具)

順不同 敬称略



第6回桑名七盤勝負世界大会 開催スポンサー

順不同 敬称略

KAKU! コンクリート二次製品製造販売
桑名工業株式会社

in bloom
hair garden

リユースショップ
モノマニア
MONOMANIA

多度グリーンファーム
Tado Green Farm

アイス饅頭
あ恵広

中山碁盤店

株式会社 オフィスフォーユー

My Kuwanavi ミュ
総合広告会社 愛晃社
株式会社

一般社団法人
日本オセロ連盟
Japan Othello Association

てらこぶた

美産山荘

ELECOM
LIFESTYLE INNOVATION

Gabroh
アルミ製囲碁盤・将棋盤 alugoban

京すけ

JBL
日本バックギャモン協会

日本ツイクスト協会

どうぶつしょうぎ
LET'S CATCH THE LION!

個人協賛
筒井レイナ/村上澄代
多胡彰紀/井上尊盛
斎藤和弘/おとなりさん
大清水崇典/和身(書家)

スカイゲスト
無料アプリ配信中!

郡山囲碁スクール
映像教材と深夜帯レッスンに特化したオンライン囲碁教室

トイドロップ
http://toydrop.jp/

日本連珠社

日本棋院三重県支部連合会

日本将棋連盟 三重オレンジ支部

名古屋チェスクラブ

個人協賛
筒井レイナ/村上澄代
多胡彰紀/井上尊盛
斎藤和弘/おとなりさん
大清水崇典/和身(書家)

『後援』 桑名市／桑名市文化協会／桑名市教育委員会／桑名商工会議所／桑名市商店連合会／日本棋院中部総本部

第6回 桑名七盤勝負世界大会

桑名発世界初!七種目競技の同時対局!

連珠 どうぶつしょうぎ オセロ チェス 囲碁 将棋 バックギャモン

日程
令和元年8月25日(日)
10:00~20:00

会場
①アビタ 2階 フードコート前
特設スペース

②桑名市パブリックセンター 1階(もと中央公民館)

③サンファール 南館 2階(桑名囲碁将棋サロン)

会場①③は見学はご自由に
できますので是非ご覧下さい!



桑名駅東口から徒歩2分

桑名囲碁将棋サロン 庵 いかり
桑名駅東口徒歩2分・サンファール2階で営業中!
桑名市桑名町1-1 サンファール南館2階 TEL 0594-88-5088
営業時間 (平日)10:00~20:00 (土日祝)10:00~21:00 定休日 木曜日
HP https://kuwanaori.info/ E-mail iori@kuwanaori.info

囲碁・将棋
ボードゲームなどで
楽しく遊ばす♪
平日限定!!
1オーダーで席料終日無料!!
キッズ・ファミリー向けキャンペーン
中学生以下のお客様を対象といたします。保護者様ご同伴の場合は、保護者様も対象です。
お子様お一人でもご利用いただけます。

〔後援〕 桑名市 桑名市教育委員会 桑名市文化協会 桑名商工会議所 桑名市商店連合会

桑名七盤勝負はルールを覚えた瞬間から競技として取り組み、個々の競技がどのレベルでも楽しめることに魅力を感じています。バックギャモンと連珠は、桑名七盤勝負に出会っていただければルールを知ることにはなかったと思いますし、新たな競技と人との出会いにワクワクします。そして桑名七盤勝負を「桑名」でもやりたい。その思いから世界大会に参加します。

杉森聡

将棋で「棋は対話なり」という格言があります。対局をしていると相手の考え方等が分かり、その都度新たな発見があります。桑名七盤勝負では、いろいろな人の考え方を様々な競技を通じて総合的に捉えることができることに魅力を感じています。この競技を通じて日々研鑽に努め、自他共に高め合っていけることを願います。

川合仁

囲碁、将棋、バックギャモン...七種もの伝承遊戯を同時平面で勝負する。影では嘲笑すら上がったことでしょ。そんな声にも屈せず、点滴石を穿つが如く、地道に、愚直な活動を繰り広げ、今では「皆が笑顔を育む場」へと成長致しました。代表の笑顔を、そして、庵に集う方々の笑顔に溢れる姿を、これからも遠方からそっと見守りたいと願う、いち七盤ファンの私でありました。

番次郎

桑名囲碁将棋サロン庵を始めてみて、これまで知らなかったセカイに足を踏み込みました。知り合いもなく、知識もなく。ほとほと困り果てていました。桑名囲碁将棋サロン庵を人が集う場所にしたい。7つの競技を集め大会にできれば、7種類の競技プレイヤーが集まってくれるのではないだろうか。そんな想いが様々な偶然に導かれて1つのコンテンツを生み出しました。桑名七盤勝負の未来はわかりません。ただこれからもみなさまとともにあり続けることを願います。

大川英輝

最近選択方法が競技と手番をセットで交互に選択するように改定されており、今まで選びにくかった連珠、動物将棋も選びやすくなりました。大川さん、グッジョブです。上期ランク集計最終日と重なっていたため、強豪が多数参加の中、なんとか決勝進出。決勝の相手はランク1位の芝野龍之介さん。得意競技が反対（石系,駒系）のため、バックギャモン勝負となり勝負所で唯一の良い目が出て勝つことができました。七盤で4つ取るのが大変な相手でも五盤で3つならチャンスがあるケースは結構あると思います。あれっ、白虎は狙い目ですね・・・。

西田直樹

桑名七盤勝負の地方大会に参加する毎に私は必ず一度はストレート負けして格の違いを見せつけられる。そんなわけだから世界大会はスーパーサイヤ人のバーゲンセールかデタラメ人間の万国びっくりにしか見えない。そんな超人達の戦いに今回初参加。私の存在はジェロニモかミスターサタンか。いずれにしても人の域を出な気がする。しかし、それは挑戦しない理由にならない。人間代表として全力で立ち向かいたい。

葛岡祥

寄稿文を募集しました
テーマは・・・
「桑名七盤勝負と私」

記念すべき第1回大会終了後その前日が初対面であつた大川さんに対して「面白かつたので東京でもやりたい」と言ったのは今となってみれば我ながら思い切つたことをしたものだと思います。これによって「継続の意義」を与えてしまったのは大川さんの忙しさや旅費等の負担を考えると申し訳なく思います。しかしながら、選手の熱量や各競技の交流という意味で考えるととても良いことをしたと自負しています。今後も関わっていきま

丸田浩貴

第6回世界大会おめでとうございます。私が桑名七盤勝負を初めて知つたのはネットニュースで、そこからやってみたいなと言う思いを持ち、今年の岡山で七盤デビューしました。桑名七盤勝負の良いところは一度に七つの真剣勝負が楽しめること、そして全国の七盤選手との交流ができることだと思っています。桑名へ行き、広島で桑名七盤勝負の大会を開くのが私の近いうちの目標です。それでは失礼いたします。

多々納進之介

桑名七盤勝負。その出会いは昨年1月にオンライン上でたまたま見かけた記事であつた。僕はその記事を読んで、妙に気持ちが昂つたのを覚えている。ここでもし自分が勇気を踏み出せなかつたら、少なくともその後の一年の過ごし方は全く違つたし、これから先の人生も違つたであろう。七盤を通じて広がる世界、人、夢。七盤は、まだ気付いていない自分の可能性を教え、気持ちを豊かにしてくれる。自分と七盤の未来に、幸あらんことを。

平田 雅典

将棋を指し始めて半年の頃、七盤大阪支部長の高月さんが運営されている将棋サークル、ブチルンに大川さんが来られたのが、大川さんとの出会いでした。「七盤をする女の人は少ないから」と強く勧められたのを覚えています。「7つすべてができるようになってから七盤勝負をしよう、と思っていると一生できない」と言われたのが印象に残り、ゲーム歴は浅いですが始めました。私なりに楽しめています。

嶋岡利恵

チェスをそのうちやろう、そんな先送りしていた目標を達成すべく辿り着いたのが庵だった。ところがそこで桑名七盤勝負なるものに誘われる。7種目中4種目はルールすら知らず躊躇したが、勢いで参加を決めた。結果、その判断は正解だったと思う。知らないからと食わず嫌いせず、やってみればどのゲームも面白い。中でも連珠にすっかりハマってしまい、最近は気付けばこればかりしている日々だ。チェスはそのうちやろうと思う。

山根友裕

吾輩はツイクスト仮面である。中の人などいない。もちろん得意競技はツイクストである。ツイクストは良く囲碁に似てると言われる。しかし私は一手のミスが致命的な点で連珠に似ていると思っている。じゃあ桑名七盤勝負でも囲碁や連珠が強いのか？と言われるとそんなことはなく、一番勝率が高いのはバックギャモンなのであつた。つまりツイクストを覚えるとギャモンが強く.....(なりません)。

ツイクスト仮面

なんの因果か、桑名の駅前。盤駒白黒石並べ。プロアマ並んで大決戦。静かな観客、手に汗握り。男も女も声無き声援。勝つも負けるも恨みは無しで、握手で始まり握手で終わる。勝つのは鬼か、はたまた悪魔か。勝利の女神は誰に微笑む。さあここに始まるは、酔狂極めたゲームの祭典。強さも弱さもひとまず置いて、いっちょう楽しんでやってみようじゃないか。そしてみんなでごはんを食べよう。でも負けたくないから負けな

白房

桑名七盤勝負は自分の中で新しい世界を教えてくれた。昨年の6月に初めて桑名七盤勝負の大会に参加してから、多くの人に出会い、色々なお話をさせていただき、様々なことを経験させていただいている。これは今までの環境では得ることができなかったことだと感じる。これから先も競技自体を楽しむとともに、新しい世界に出会えることを、たくさんの人と出会えることを楽しみにしたい。

齋藤成利

みちしるべ。――

1年半前に唐突かつ鮮烈に私の前に現れた貴方。初めて会った時から、厳しくもあるが戦い抜いた時に一入の喜びをもたらしてくれる、魅力的な存在だった。幾許かの時の中で、色々な所に現れて、沢山のの人に愛されて、少しずつ成長する貴方。その中で多くのカッコいい・魅力的な人やものとの出会いを与えてくれる優しき貴方。より愛される姿に変わっていく、大好きな彼の旅が楽しみである。自らもより成長して、彼をはじめりにした素晴らしい景色を見ていきたい。いまの私には、桑名七盤勝負がボラリスである。

加藤翔太

桑名七盤勝負にはルール作成から携わってきた。プロトタイプもプレイしたが、当時は並び方から指す順番から何から何まで決まっておらずまさにハチャメチャな状態だった。ルールがほぼ確立した今となっては懐かしい話である。そんな桑名七盤勝負で最初から決まっていたのは「ギャモンのルール」であつた。特にダイスをどうするかについてはギャモナーならではの経験が生きたと思う。バックギャモンも桑名七盤勝負も、引き続き広まり続けることを願う。

斉藤和弘

桑名七盤勝負と出会って、大げさに言えば人生が変わつた。交流が増え、遠出をするようになり、おそらくは性格も変わった。五十になる年に出会つたのは、「これから第二の人生が始まるぞ」という天啓かと思うほどである。十代に囲碁とオセロ、数年前から将棋を始めたことも、このためだったのかとも思える。まだまだ人生の幕引きを考えるときではないようだ。わたしは人生の峠を越えたのではなく、新たな頂上に向かっている。

Yukina-Gi

幼少期に将棋を覚え、成人してから本格的にやって初段の免状を取得しました。勤務先の部活で職団戦にも参加しましたが、競技者としての自身には限界を感じておりました。そんな折に出会つた桑名七盤勝負。7つ同時進行の競技ならば各分野の専門家にもこんな私でも渡り合える？私は今一度競技者としての道を歩みはじめたのでした。

クランコ

囲碁のプロの芝野龍之介です。私は自分の知名度を上げるために交友関係を増やそうと思い、その一つとして桑名七盤勝負を始めました。その結果仲の良い方が増え、七盤の世界に引き込まれてきました。七盤は全国的に有名になり続けています。私も遅れを取らないように頑張ります。

芝野龍之介

2017年某日
5月4日に桑名七盤勝負が東京で初開催と知り、「これは出るしかない！」と決意。が、その直後、とあるイベントに気づき頭を抱えた。「いやー、東京開催は大チャンスだけど、さすがにあり得ないか...ないかなあ...ないか...」

2017年5月1日
長男なかむらいくと誕生。

なかむらいご